

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
15時29分54秒作成

評価年度	平成29年度	所属	4101000000	監査委員事務局
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00828	監査事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	10227	01	02	06	01	02	01	01	監査事業（監査委員費）
所属長	澤野 直樹			担当者（内線）小川 準（2892）					
根拠法令等	地方自治法・地方公営企業法・吹田市監査委員に関する条例								
事業開始年度	不明	直近の改正		平成20年度					
改正内容	監査委員の定数を4名から5名に条例改正								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	（対象機関等）全部局・財政援助団体 （対象者）市長、委員会委員、市職員		
目標	市の財務に関する事務の執行が適正かつ効率的に行われるよう、また、市政の運営に係る事務の管理が合理的に行われるように監査を実施		
結果	市民から信頼される市政の実現		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 年間監査計画に基づく定期監査（行政監査）、財政援助団体等監査、工事監査、例月出納検査、決算審査・基金運用状況審査、健全化判断比率等審査の実施 住民監査請求に基づく監査の実施 		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	協同組合総合技術士連合
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		工事監査に伴う工事技術調査
	□ 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
□ その他	内容		

<事業費>

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	7,038	4,581	7,523	5,156	7,009
人件費職員数(人)	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	57,190	55,300	56,364	56,364	55,615
総事業費(A+B)	64,228	59,881	63,887	61,520	62,624
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	64,228	59,881	63,887	61,520	62,624
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	64,228	59,881	63,887	61,520	62,624
財源計(C+D)	64,228	59,881	63,887	61,520	62,624

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	監査（補助執行）実施件数	室・課	目標値	83.00	67.00	82.00
			実績値	83.00	68.00	
			達成度(%)	100.00	101.50	
目標値の積算方法	年間監査計画に基づき実施されること	単位当たりコスト	総事業費(千円)	721.46	904.71	
			一般財源(千円)	721.46	904.71	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	指摘及び注意事項に関する改善件数	件	目標値	197.00	268.00	0.00
			実績値	197.00	268.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	指摘及び注意事項が全て改善されること	単位当たりコスト	総事業費(千円)	303.96	229.55	
			一般財源(千円)	303.96	229.55	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	地方自治法により実施が求められている業務であり、継続が必要である。

事務事業分析シート

所属名	監査委員事務局	事業名	監査事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00828				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	87	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	監査委員事務局	事務事業番号	00828
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>監査事業(監査委員制度)は、公正で合理的かつ能率的な市の行政運営の確保を図るため、地方自治法に定められた制度である。</p> <p>監査委員事務局の職員体制は、職員再構築計画以前は職員9人であったものが、平成28年度からは職員7人(再任用職員1人が退職したため1人欠員)で、なおかつ公平委員会事務局職員を兼任しており、公平委員会事務局職員にも欠員が生じているという再構築計画よりも少ない職員数となっている。</p> <p>また、平成28年度からは監査委員事務局職員が市長の附属機関である行政不服審査会の事務を補助執行している状況である。</p> <p>職員が少ないながらも意欲的かつ効率的な監査の実施により、これまでの監査水準を維持するよう努力している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>地方自治法により実施が求められている業務であり、継続が必要である。</p>
--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 8日
15時31分25秒作成

評価年度	平成29年度	所属	4101000000	監査委員事務局
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01633	行政不服審査会運営事業							
章	08	基本計画推進のために							
節	04	計画的な行財政運営の推進							
細節	00								
予算事業	11788	01	02	01	01	22	01	01	行政不服審査会運営事業（一般管理費）
所属長	澤野 直樹			担当者（内線） 小川 準（2892）					
根拠法令等	行政不服審査法、吹田市行政不服審査法施行条例								
事業開始年度	平成28年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	審査請求人の処分に対する不服		
目標	行政不服審査法に基づき、審査庁の諮問に応じ調査審議を行い答申する。		
結果	市民から信頼される市政の実現		
事業概要	行政不服審査法に基づき審査請求に対する審査庁の判断の妥当性について第三者機関である行政不服審査会が調査審議を行う。 監査委員事務局職員は、市長の附属機関である行政不服審査会の事務を補助執行する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,042	267	1,041	0	1,040
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	1,042	267	1,041	0	1,040
特定財源(C)	0	0	1	0	1
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	1
市負担(D)	1,042	267	1,040	0	1,039
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,042	267	1,040	0	1,039
財源計(C+D)	1,042	267	1,041	0	1,040

所属	監査委員事務局
事務事業番号	01633

2頁
平成30年 6月 8日
15時31分25秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	行政不服審査法に基づき審査請求に対する審査庁の判断の妥当性について第三者機関である行政不服審査会が調査審議を行う。	目標	審査庁の判断の妥当性について調査審議する。
成果内容	監査委員事務局職員が、市長の附属機関である行政不服審査会の事務を補助執行することで、市民から信頼される市政の実現をめざす。	達成状況	達成できている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	行政不服審査法及び吹田市行政不服審査法施行条例により実施が求められている事業であり、継続が必要である。

事務事業分析シート

所属名	監査委員事務局	事業名	行政不服審査会運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01633				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	④利用者が対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
(4) 公平性 (20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	監査委員事務局	事務事業番号	01633
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

行政不服審査法により実施が求められている業務であり継続が必要である。